

船舶事故等調査報告書

平成24年2月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第193号	
事故等種類	衝突（灯標）	
発生日時	平成23年9月6日 01時22分ごろ	
発生場所	愛知県名古屋港 名古屋港東航路第4号灯標 (概位 北緯34°58.1' 東経136°48.1')	
事故等調査の経過	平成23年11月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	ケミカルタンカー ^{みんぼう} 民豊丸、498トン	
船舶番号、船舶所有者等	136155、有限会社六甲船舶及び開成マリン株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、二級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	本船 右舷側後部外板に擦過傷 灯標 頭部に擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、名古屋港の東航路を北東進中、船長が、単独で航海当直に就き、レーダー及びプロッターを作動させ、主に目視で見張りを行っていたが、同航路の灯標の灯光が全体的に弱いように思いながら漠然と前方を見ていたところ、真正面やや右舷側に名古屋港東航路第4号灯標（以下「第4号灯標」という。）の灯光を認め、左舵15～20°として左転したが、平成23年9月6日01時22分ごろ右舷後部が第4号灯標と衝突した。</p> <p>本船は、船長が第4号灯標の点灯を確認して海上保安部に報告したのち、北浜ふ頭沖に錨泊した。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2～3、視界 良好 海象：潮高 約1.6m、潮流 微弱な南西流	
その他の事項	第4号灯標は、灯高7.6m、光達距離5海里、単閃赤光、毎3秒に1閃光であった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、名古屋港の東航路を北東進中、船長が、名古屋港東航路の灯標の灯光が全体的に弱いように思いながら漠然と前方を見ており、適切な見張りを行っていなかったことから、衝突直前まで第4号灯標に気付かず、第4号灯標に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、名古屋港の東航路を北東進中、船長が適切な見張りを行っていなかったため、第4号灯標に衝突したことにより発生したものと考えられる。	